

8-1-9 広報専門委員会

1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づき活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

(1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

(2) 学生講座WG

学生に向けて、建設コンサルタントへの理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントの社会における役割や重要性、魅力を伝え、職業として目指してもらえようような活動を企画。

(3) 一般・社会人広報・ホームページWG

社会人を対象とする広報活動の検討、実施と一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。また、協会HPの運用等に対して改善策を企画提案。建コンフォト大賞入賞作品を活用したカレンダーの制作。

(4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

2. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、令和3年度は、5、7、8、10、1、4月の6回を開催。

(2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。今年度は高専を対象に1回のオンライン方式による業界説明会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、Web会議システムを活用した説明会を呉工業高等専門学校で実施し、受講者数は約50名であった。

(3) ワーキング(WG)による活動

a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会用資料として、建設コンサルタントの仕事の内容及び魅力を伝えるリクルート説明用パワーポイント及びポスターについて、建コン協の概要など時点修正を行い、印刷のうえ1月に配布を行った。

b) 建コン協カレンダーの制作

昨年に続き、建コン協カレンダー(2022年版)を制作した。2020年建コンフォト大賞が中止となったため、2022年カレンダーは過去の入選作品を活用して制作した。10月に1.92万部印刷発注し、12月に支部へ配布した。

c) 学生向けリーフレット・ポスターの制作

学校説明会等で、建設コンサルタントの仕事の内容及び魅力を伝えるリーフレットの更新を行った。更新にあたっては、より着目いただけるようイラストを活用してインパクトあるデザインを採用した。1月に2万部印刷を行い、2月に各支部へ配布した。

d) 災害時等に着用するジャケット類の制作

昨年度、災害時等における建設コンサルタントの貢献を業界内外に示すことを目的にジャケット類を製作した。今年度は、令和2年度に追加発注したJCCAユニフォーム(安全ベスト、腕章)を6月に各支部へ配布した。

e) 「土木×落語」の企画(新作落語制作)

昨年度にYouTubeにて配信を開始した柳家小きん師匠による「土木落語」について、より広範に周知を行うべく、国土交通省のHPにリンク掲載をしていただいたほか、土木学会誌への記事掲載、中央エフエム「ドボクのラジオ」への出演、またその告知をFacebookにて行った。

また土木落語第二弾が完成し、次年度に動画撮影を予定している。撮影時には「なぜ、今の職業を選んだのか」をテーマにして小きん師匠と建コン協の技術者との対談も行う予定である。

(広報専門委員会委員長 土井 和広)